

STANDARD MAINSTREAM APPLICATIONS

A CALLERLAB Supplemental Document
Showing the Standard Formations and Arrangements
for each of the Mainstream Calls

スタンダード メインストリーム アプリケーション

CALLERLAB 補足資料
メインストリームコールのフォーメーションとアレンジ

製作

CALLERLAB コレオグラフィックアプリケーション委員会
The International Association of Square Dance Callers

2020年5月改訂



一般社団法人
日本スクエアダンス協会
Japan Square Dance Association

改訂履歴

(この表は、2000 年以降の変更点をまとめたものです)

日付	変更
1991	オリジナルドキュメントの公開
2001	1996 年 文書を以下のように改訂しました a) EIGHT CHAIN THRU を削除し、プラスプログラムに移行 b) FAN THE TOP を削除し、プラスプログラムに移行 c) c) SPIN CHAIN THRU を削除し、プラスプログラムに移行 d) d) リストの順序を数値ではなくアルファベット順に再構成
2003	a) EIGHT CHAIN THRU(1-8)を追加。プラスプログラムからの復帰 b) ALL AROUND THE LEFT-HAND LADY を ALL AROUND THE CORNER に変更
2005	現在のメインストリームプログラムに合わせて移動リストを修正しました a) EXTEND THE TAG を EXTEND に変更 b) SPLIT THE OUTSIDE COUPLE を SPLIT TWO に変更 c) DOSADO のバリエーションである SEE SAW を Left Dosado に変更 d) ALAMO RING フォーメーションを追加 e) ALLEMANDE RIGHT を削除 f) ファミリーグループが削除された名前を調整し、アルファベット順に並べました また、一般的なコレオグラフィー使用法の変化を反映して、多くの改訂を行いました
2006/9/10	ドキュメント名を「Standard Basic and Mainstream」に変更 SPIN CHAIN THRU を追加
2008/1/15	ALL AROUND THE CORNER を WALK AROUND THE CORNER に変更
2020/5/20	プレゼンテーションの順序を、アルファベット順から提案されたティーチングオーダー順に変更 アルファベット順の索引を追加 ベーシックとメインストリームを 2 つの文書に分けました Thar Family と、それに関連するコールをメインストリームに移動しました Tag the Line Family を更新

Standard Applications Books

© 1991-2020 CALLERLAB, Inc. Topeka, KS, The International Association of Square Dance Callers

この通知が表示されていることを条件に、ロイヤリティなしで転載、再出版、二次的著作物の作成を許可します。二次的著作物のインターネット上での公開は、この通知が表示されている場合に限り、ロイヤリティなしで許可されます。本文書の一部または全部をロイヤリティなしに引用することを許可します。本文書に記載されている情報は、いかなる派生物や出版物においても変更・修正されることはありません。

■ 日本語版翻訳・発行履歴

2013 年 6 月：技術委員会・SD 小委員会、翻訳：金子 裕行

2021 年 8 月：技術委員会・SD 小委員会、翻訳：島田 秀幸

発行：一般社団法人日本スクエアダンス協会・技術委員会・SD 小委員会

目次

(ティーチングオーダー順)

目的	1
スタンダードアプリケーションの範囲	2
Cloverleaf	3
Turn Thru	3
Eight Chain Thru	3
Pass to the Center	3
Thar Family	3
Allemande Thar	3
Allemande Left to an Allemande Thar	3
Wrong Way Thar	3
Slip the Clutch	3
Shoot the Star	3
Shoot the Star Full Around	3
Hinge (Single and Couple)	4
Centers In	4
Cast Off 3/4	4
Spin the Top	4
Right and Left Thru Mainstream Application	4
Walk and Dodge	4
Slide Thru	4
Fold and Cross Fold	5
Dixie Style to an Ocean Wave	5
Spin Chain Thru	5
Tag the Line Family	5
Tag the Line (In, Out, Left, Right)	5
Fraction (1/4, 1/2, 3/4) Tag	5
Scoot Back	6
Recycle (from a Wave only)	6
Alphabetical Index	未掲載

スタンダード メインストリーム アプリケーション

■ 目的

モダンスクエアダンスの世界では、ダンサーとコーラーが旅行をして、異なる地方、国のダンサーたちと踊り、違う国のコーラーのコールで踊ることを薦めています。このことは、ダンサーたちがベーシック、メインストリーム、プラスというそれぞれのダンスプログラムを的確に踊れるレベルを確保するための十分な練習（講習、踊り込み）を積む必要があることを意味します。コーラーは、どの動作がどのプログラムリストに載っているかを知り、定義に沿って、正しいタイミングに気を付けて、スムーズなボディーフローを心掛け、はっきりと聞こえるコールをすることが必要です。更にコーラーは、その場にいる知らないダンサーたちがどれだけダンスを的確に踊れるかについて、その場で判断出来ることが求められます。

この資料の目的は、経験を積んだコーラーたちが、彼らの貴重な能力を駆使して、それぞれの動作において、ダンサーが正しく上手に踊れる、数多くある開始位置の中から、適するものを選んで実例を収集蓄積して資料化することです。何をこの資料に掲載するかという選択の際には、コーラーは「平均的ダンス能力を持つ」ダンサーに、実際にどこまでのダンス知識を期待出来るかについて正しく理解することが必要です。現実的には、多くのコーラーたちは、教える時間が限られていて、詳細を深く説明して教えることに関しての妥協が要求されます。その妥協の先には、結果的に「時間外の練習」が多少の差はあれ生じることとなります。スタンダードアプリケーションとエクステンデッドアプリケーションの考え方は、モダンスクエアダンスのコレオグラフィーを学ぶ際の時間的な制約を、段階的に克服して行くためのサポート方法として考えられたものです。私達(CAC)の意図(ゴール)は、成功しそうなコールのコレオグラフィーと、混乱しそうなコールのコレオグラフィーを見分けるために、コーラーを手助けする方法を提供することです。

このゴール達成のためには、コーラーがあらかじめ、ダンサーが最も快適に感じる特定のフォーメーションや、男性－女性の配列を知っていることが必須です。一つのコールをする毎に、フォーメーションや配列が変化して行くので、コーラーは、各コール毎にその変化を認識していることが必要です。この資料では、これらの「ダンサーが最も快適に感じる特定のフォーメーションや、男性－女性の配列」条件を満たすコールを『スタンダード』アプリケーションと呼びます。ここに掲載されたコールのアプリケーションは、コーラーがほぼ100%のダンサーが成功することを期待できるものです。ちょっとした指示や位置についてのヒントをダンサーにコメントしてあげることが必要な場合もあると思います。エクステンデッドアプリケーションと見なされるバリエーションは、掲載されていません。

それぞれのコールについて、この資料に掲載されている標準的あるいは『安全』なアプリケーションのコールは、そのコールだけがコーラーが教えることの出来るバリエーションであるとか、ここに掲載されていないエクステンデッドアプリケーションのコールはコールしてはいけないという意味のものではありません。モダンスクエアダンスではコールの創造性や多様性(変化に富むこと)が、重要な要素であり、エクステンデッドアプリケーションを使うことがとても適する場合も生じます。時にはこの資料に掲載されている事例の中の「あまり多用されていないコール」を幾つか使うだけでも十分にコールの多様性を提供することが出来ます。また、別の時には、スムーズで間違いのないスタンダードなコレオグラフィーの連続が、優先的に要求される場合もあります。

上手なコーラーたちは、その場その場で、何を優先して考慮しながらコールすべきかを正確に把握して、素晴らしいコールをすることが出来ます。これは、現在コーラーたちが上手になるために、自分が使うコレオグラフィーについて学び、理解して、その難易度をコントロール出来ることが重要であることを意味しています。彼らは、自分のコールするコレオグラフィーが、どのタイミングでセットを壊してしまう可能性があり、また必要に応じて間違いを修正することになりそうかについて気付ける能力が必要です。

スタンダードアプリケーションの初版は1991年に作成され、以来この資料の存在が、各種パーティー、コンベンションにおいてコール関連用語が的確に使用されることにいい影響を与えて来ました。そのことが今度は、各種パーティー等でのアプリケーションのコールをすればよいのか、ということに影響するようになって来ました。このようにスタンダードアプリケーションの認知度が増して来た中において、コーラーのダンサーに対する期待値と、ダンサーがその期待に応えられる適格性がより良いマッチングをもたらすことを望みます。

■スタンダード アプリケーションの範囲

適した練習(講習、踊り込み)に加えて、ダンサーが上手に踊れるためには、通常下記三つの要素が必要です。

1. 経験

ダンサーは、もしそれまでに特定のフォーメーションやアレンジメントを使つてのコールで踊った経験が十分にあれば、そのコールを踊りこなすことが出来るでしょう。繰り返し踊ることで、自分のダンスを快適に踊れたり、自信を持つことが出来たりする気持ちが増えて来るのです。

それらコーラーが良く使う傾向のあるフォーメーションとアレンジメントが、結果として『スタンダード』として定義されて行くのです。

2. 慣れているという感覚

ダンサーは、新しい状況の中でも、このコールなら慣れていて踊れるという感覚でいることが出来ればコール通りに動いて踊ることが出来ます。

それは、時として、通常あまりコールされない動きのパターンだとしても、ダンサーが「これは慣れている」という感覚を持たされながら、あるフォーメーション、配列からのコールをスタンダードアプリケーションとしてコールされれば、ダンサーは上手に踊れるものなのです。

3. コーラーの判断とサポート

コーラーがフロアで踊るダンサーの踊れる能力を把握出来る正しい判断力と、巧妙なサポートとコールを提供出来れば、ダンサーは上手に踊ることが出来ます。この資料は、いいボディーフローの使い方を学び、徐々に難しさを増すコールが出来、補助用語をほぼ使わずにコールが出来、CALLERLABの委員会で投票資格のあるコーラーたちのコール例の作成とそれらへの投票によって積み重ねられて作成されました。資料の中では、新人コーラーたちがコール技術を学ぶのをサポートするために必要な「コールのどの部分で難しさが増すか」「どの部分でヒントが必要か」について理解出来るように努めました。

スタンダードアプリケーションの資料作成の当初の目的は一つ（下記a）でしたが、作成を進める中で、少なくとも次の3つの用途に使える内容になって来ました。

- a) 元々の目的は、目の前で踊る初めてコールするダンサーたちがどの程度踊れるかを予知する必要があるコーラーに、具体的な参考例を示すことでした。
- b) 第2の目的は、モダンスクエアダンスの広い世界の入り口から入って学ぶ生徒（ダンサー）たちにダンスを教える用意をする時に、どのコール例に重点を置いて講師（コーラー）がコールすべきかという模範例をガイドとして示すことです。時間が許せば、その例会に参加するダンサーの興味と能力に見合う追加のコール例を教えることを薦めます。
- c) 第3の目的は、スタンダードとエクステンデッドの間のグレーゾーンにあるコール例をダンサーが上手く踊れるようにするための判断力とコール技術を、コーラーが身に付けるのを助けるアイデア源になることです。

上記の内容に沿ったベーシックプログラムの一つ一つのコールについて、以下に示す一覧表には、最も経験を積んだコーラーたちが現時点でスタンダードと考えるフォーメーションと配列を掲載しました。配列の番号はCALLERLABのウェブサイトにある資料「選ばれたフォーメーションと配列の名称と図表」の番号と整合しています。

スタンダードとエクステンデッドアプリケーションの間にはグレーゾーンが存在します。あるコール例が、ある場所では普通であっても、別の場所では殆ど使われない場合があります。コーラーたちの認識を高めて、コールの多様性を推奨するためにこの資料の中には必要に応じて添えられるべき補足用語を付記してあります。

この資料は定期的に見直されて、最新のメインストリームプログラムの内容が反映されます。詳細は、改訂の履歴を参照して下さい。

■ MAINSTREAM PROGRAM

(推薦されているティーチング・オーダー順に掲載)

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
1. Cloverleaf	Completed Double Pass Thru	All Arrangement	"0"(ゼロ : ノーマルカプル) の、Completed Double Pass Thruから最もよくコールされる、しかし、その他のアレンジメントでも問題は少ない。
	Inverted Square (2 Couples facing out)	All Arrangement	コールは、外向きの人に指示される。
	Trade By	All Arrangement	コールは、外向きの人に指示される。

注 : 多くの国、地方では、Turn Thruは殆どコールされておらず、コールする場合には説明をしながらのコールが必要になる。

2. Turn Thru	Right & Left Grand Circle	BGBG (Boys facing CCW, Girls facing CW)	続くコールとして、Allemande Left が最もよく使われる。 Right pull by の後のバリエーションとして、Left Turn Thru がパートナーとBox the Gnatを行う前に、通常安全に使われる。
	Wrong Way Thar or the same dancer location without the hand holds.	4 Boys in the center	Singing Callが一般的 Boys Promenade , Turn Thru with your Partner , Allemande Left
	Right-Hand Parallel Waves	1/2 (Boys in center , Girls on ends)	だいたいの場合、Swing Thru が前に行なわれ、 Allemande Left が次に来る。
	Right-Hand 1/4 Tag	3 (Boys in very center, Normal Couples outside)	このコールは、Wave にかげられる、Allemande Left が続くのが最も安全である。
	Eight Chain Thru	0 (Normal Couples)	Centers Square Thru 3 , Left Turn Thru , Right and Left Grand というのがナイスバリエーションである、Square Thru 3 , Allemande Left と同じ結果である。

3. Eight Chain Thru 1,2,3 etc.	Eight Chain Thru	0 (Normal Couples)	Eight Chain Thruとだけコールするのは一般的ではないので、セットが壊れるのを防ぐために "go eight hands"と言い添えた方がいい。
			Eight Chain 2, 4, 6はSinging Callで多用される。 Eight Chain 3と1は、Patter Call の Allemande Left への Get-outに使われる。

4. Pass to the Center	Eight Chain Thru	0 (Normal Couples)	いくつかの地域ではほとんど使われておらず、外側に出た後、Tradeすることをダンサーに指示 することが欠かせなくなっている。
	Eight Chain Thru	4 (Normal Couples in center)	

5. Thar Family			
a : Allemande Thar	Thar Star (Right hands in center)	4 Boys in center	これは、Thar Formationにおいて、最も一般的である。 コーラーの言葉には、特定のアクションに関する指示が含まれなければならない。 例えば、Allemande Left full turn , hang on , men into the center of an Allemande Tharである。
b : Allemande Left to an Allemande Thar	Static Square	Normal Couples	混乱を避けるために、コーラーはコールの際に、例えば Allemande Left go forward 2 to an Allemande Thar のような補助用語を、必ず言い添えた方がいい。
	Circle moving either way	Normal Couples	
	Right & Left Grand Circle	BGBG with Boys facing CCW , Girls facing CW	
	Eight Chain Thru	0 (Normal Couples)	
c : Wrong Way Thar	Wrong Way Thar (Left hands in center)	4 Boys in Center	Wrong Way Tharは、あまり使われない。 使う際は、きれいに隊形を作る為のやり方をコールする必要がある。 (一例として Allemande Left , Turn Partner Right full turn , Boys into a Wrong Way Tharがある。)

6. Slip the Clutch	Thar Star (Right hand in center)	4 Boys in Center	一般的な使われ方は、Slip the Clutch , Left Allemande である。
	Wrong Way Thar (Left hands in center)	4 Boys in Center	この使い方は、一般的ではない、最も安全なのは次の動きが何か明らかに決まっているような 場合、例えばSlip The Clutch , Right & Left Grand である。

7. Shoot the Star / Shoot the Star Full Around			
a : Shoot the Star	Thar Star (Right hand in center)	4 Boys in Center	これは一般的に使われる使い方である。
	Wrong Way Thar (Left hands in center)	4 Boys in Center	これは、あまり一般的ではない、Allemande Leftに続けるのが、最も安全である。
b : Shoot the Star Full Around	Thar Star (Right hand in center)	4 Boys in Center	Full Aroundは一般的ではない、最も安全に行なおうとするならば、次の動きが何か明らかに 決まっているような、例えば、to your partner for a Box the Gnat. などを後に続ける。

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
8. Hinge Family			
a : Single Hinge	Parallel Waves or Columns	All Arrangement	Single Hinge は、色々なMini-Waveから行なってもそれほど問題は起きない、しかし、Right や Left と言うことが必要かもしれない。
	Tidal Wave	All Arrangement	Right や Left と言うことが、混乱を避ける。
	Parallel Right-Hand 2-Faced Lines	All Arrangement	このコールはCentersにのみかけられる。 (Girls / Boys / Centers Hinge.)
b : Couples Hinge	Parallel 2-Faced Lines (Right or Left Handed)	0 (Normal Couples)	このコールは、あまり使われないため、これらのポジションからは、たいてい、手助けの語句が必要である。
	Tidal 2-Faced Line (Right or Left Handed)	Normal Couples	最初に、Couples Trade や Couples Circulate を使うと、成功率があがる。
9. Centers In	Completed Double Pass Thru	All Arrangement	このコールの後に、Cast Off 3/4以外がコールされると、壊れることが多い。
10. Cast Off 3/4	Lines Facing Out	All Arrangement	このコールは、"0"(ゼロ：ノーマルカブル)で、Double Pass Thru が終わった隊形から、Centers in の後に最も多くされる。
	Right or Left Hand Columns	0 or 1/2 (GBBG or GBGB)	カラムからはあまりコールされない。ダンサーが正しい終了位置の手がかりになる補助用語を必要とするからである。
	Parallel Waves (Right or Left Handed)	0, 1/2, 1, 2 (not BBGG or GGBB)	この4つのアレンジメントから行なう時は、どこで止まったらよいかをわかりやすくするため、手がかりになる補助用語が必要である。
11. Spin The Top	Right-Hand Parallel Waves	1/2 (Girls on ends, Boys in center)	一般的な使い方は、"0" (ゼロ：ノーマルカブル)のWave から始まる：Swing Thru, Spin The Top, Right & Left Thru
	Right-Hand Tidal Wave	2 GBBG waves	コールは、Each 4 に指示される。
	Right-Hand Tidal Wave	GBBG wave in center	コールは、Center 4 に指示される。
	Right-Hand 1/4Tag	1/2, 3 (GBBG wave in the center)	コールは、Center Wave に指示される。
注：スタンダードアプリケーションの中で、Ocean Wave Ruleを使用するRight & Left Thru			
Right & Left Thru	Right Hand Tidal Wave	0 (Girls in center of each 4)	パラレルで"0" (ゼロ：ノーマルカブル)のRight Hand Waveから始まる、最も一般的なアプリケーションは：Swing Thru, Spin The Top, Right & Left Thruである。
	Right-Hand Parallel Waves	0 (Boys on ends, Girls in center)	Spin The Topの後に行なうと、最も成功する、しかし、違う使い方は安全ではない。
12. Walk & Dodge	Right-Hand Parallel Waves	1 (Boys facing in, Girls facing out) 2 (Girls facing in, Boys facing out)	1 は、スタンダードな使われ方である。 2 を右手のParallel Waveから使うのは、あまり多くないが、手助けの語句を入れれば、重要な問題(訳者注：セットが壊れること)は起こらない。
	Right-Hand 1/4 Box (Such as the result of Heads Touch 1/4)	Ceter Box with Boys facing in and Girls facing out	一般的な使い方は、Heads Touch 1/4, Centers Walk & Dodge である。
	Facing Lines	0 (Normal Couples)	コーラーは、walker と dodger を指示しなければ (訳者注：誰がwalkerで、誰がdodgerか、はっきりさせなければ)ならない。このセットアップ動作を行なうための直前の指示は、ダンサーになめらかな動きをしてもらうために必須である。よく、シンキングコールで使われるのは、Bend the Line, Boys Walk, Girls Dodge, Swing である。
13. Slide Thru	Eight Chain Thru	0 (Normal Couples)	Slide Thru には、終わった隊形で、もし外を向いている一人きりのダンサーがいたとすると、壊れてしまうという重大な傾向がある。
	Facing Lines	0, 1 (Normal Couples or BBGG)	
	Static Square	Normal Couples or Half-Sashayed Couples	このコールは、Heads か Sides に指示される。 ハーフサッシュェイドで動いているカブルがこの動作を成功する為には、手助けの語句が必要である： Heads Box the Gnat and Slide Thru to face the sides.
	Double Pass Thru	Arrangements with Normal Couples Facing in the center	このコールは、Centers に指示される。 この使い方はまれではあるが、めったに問題は起きない。
	Trade By		

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
14. Fold / Cross Fold			
a : Boys Fold	Parallel Waves (Right or Left Handed)	Boys on ends , Girls in center	リスト上の全てのアレンジメントの、Boys Fold は、Ends Fold に置き換え可能である。
	Parallel 2-Faced Lines (Right or Left Handed)		
	Lines Facing Out		
	Rght-Hand Parallel Waves	2 (Boys facing out)	しばしば、この後に Double Pass Thru が続く。
b : Girls Fold	Parallel Waves (Right or Left Handed)	Girls on ends , Boys in center	リスト上の全てのアレンジメントの、Girls Fold は、Ends Fold に置き換え可能である。
	Parallel 2-Faced Lines (Right or Left Handed)		
	Lines Facing Out		
	Rght-Hand Parallel Waves	1 (Girls facing out)	しばしば、この後に Double Pass Thru が続く。
c : Ends / Centers Fold	Parallel Waves (Right or Left Handed)	All Arrangement	Ends Fold は、Centers Fold よりも、かなりよくコールされる。 メインストリームのダンスでは、Fold の後に続くコールは、ノーマルなものが良い、それは結果がオフセット(ずれた)の場合でも自動的にアジャスト(ずれを調整)するからである。
	Parallel 2-Faced Lines (Right or Left Handed)	All Arrangement	
	Lines Facing Out	All Arrangement	
d : Centers Cross Fold	Parallel Waves (Right or Left Handed)	0 or 1/2 (Either all 4 Boys in the center, or all 4 Girls in the center)	たいてい、Boys Center のLeft Hand Wave からコールされる。 Cross Fold を使うのは、ほとんど一般的ではなく、 最も安全なのは、後に Allemande Left や Swing を続けることである。
e : Ends Cross Fold	Rght-Hand Parallel Waves	0 (Girls in the center)	一般的な結果は、Boys Cross Fold , Allemande Left または Swing である。
	Lines Facing Out	1(BBGG: Boys together and Girls together with Normal Couples in the center)	これは最も安全である、なぜならば、結果がNormal Couples になるからである。 他のアレンジメントは、いくつかの手がかりになるコールと共に使われる。

15. Dixie Style to an Ocean Wave	Facing Lines	0 (Normal Couples)	Courtesy Turn の後(Ladies Chain, あるいはRight and Left Thru) または、Reverse Flutterwheel の後に最もよくコールされる。
	Static Square	Normal Couples	コールは、Heads またはSides に指示される。
	Double Pass Thru	1 (Girls in center)	Facing Line からはコールして成功すれば、この隊形からは On a double track , Dixie Style to an Ocean Wave といった手掛かりになる言葉を添えれば成功するだろう。

16. Spin Chain Thru	Rght-Hand Parallel Waves	0 (Boys as ends and Girls as centers)	Boysが動いている間に、Girls が専念できる他の動きがコールされる場合に、成功する確率が上がる。 (1例、Girls Circulate 2 , Girls Clap to the Music)
		1/2 (Girls as ends and Boys as centers)	Spin Chain Thru は、"0"(ゼロ : ノーマルカプル) の右手のWaveから最も行なわれる。

17. Tag the Line Family			
a) Tag the Line	Rght-Hand Parallel 2-Faced Lines	All Arrangement	"0"(ゼロ : ノーマルカプル) の2 Faced Line から、使うのが最も一般的である。
	Lines Facing Out	All Arrangement	コーラーは、all the way を付け加えることが必要であろう。
b) Fraction (1/4, 1/2, 3/4)Tag			
注 : Quarter Tag : このコールはメインストリーム リストに掲載されてまだ間もないため、まだどの動作パターンを取ってもスタンダードアプリケーションと呼ぶには早い。コーラーは手助けになる言葉を添えるべき。下記に挙げた動作パターンは良く使用されている例である。			
Quarter Tag	Rght-Hand Parallel 2-Faced Lines	0 (Normal Couples)or 1/2(Both Normal or both Half-Sashayed Couples)	"Girls (or Boys) end in wave and others face in" とすることにより、状況が明確になる。
	Left-Hand Parallel Waves	0 or 1/2(Boys or Girls in center)	上記と同様Waveの端にいる人が状況をよく分かっている ことが必要。
	Lines Facing Out	1(BBGG)	終わった後にWave をしっかり作るために、Center Trade を続けると良い。
Half Tag	Rght-Hand Parallel 2-Faced Lines	0 (Normal Couples)	これが最も一般的である。
		Other Arrangements	通常問題ない。
	Lines Facing Out	1 or 2(Same gender couples)	この動作の後にCenters Tradeを続けるとwaveを作りやすい。

Tag the Line Familyの続き

注 : Three-Quarter Tag : このコールはメインストリーム リストに掲載されてまだ間もないため、まだどの動作パターンを取ってもスタンダードアプリケーションと呼ぶには早い。下記に挙げた動作パターンは良く使用されている例である。

Three Quarter Tag	Right-Hand Parallel Two-Faced Line	0 or 1/2(Both Normal or both Half-Sashayed Couples)	"Boys (or Girls) end in wave"と声がけてコールすることで成功率が上がる。
	Line Facing Out	1(BBGG)	"0"(ゼロ : ノーマルカプル) Three-Quarter Tagの形で終了する。

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
18. Scoot Back	Right-Hand Parallel Waves	1 or 2 (All 4 Girls facing out, or all 4 Boys facing out)	よく使われる使い方である、Scoot Backが最も成功するのは、ダンサーが、彼らのBoxに焦点を合わせているときである。 (訳者注：ダンサーが自分のいる四人のBoxを意識できると、成功の度合いが高くなる。)
	Left-Hand Parallel Waves	All Arrangement, but call directed only to the centers	これは、あまり一般的ではない、しかし、コールがはっきりとCentersを強調できていたら、たいして安全である。 もし、同性が中にいる場合は、コールを、Boys、または、Girls Scoot Backとする方が適している。
	Right-Hand Parallel 2-Faced Lines		
19. Recycle (From a Wave Only)	Right-Hand Parallel Waves	0 (Boys on ends , Girls in center)	これは最も一般的な使われ方である。
	Right-Hand 1/4 Tag or 3/4 Tag	0 or 4 (Center Wave is BGGB)	コールは、Center Wave に指示される。 (1/4 Tag に使う方が、より一般的である。)
	Right-Hand Tidal Wave	0 (Two BGGB waves)	コールは、それぞれの4人 (Each 4) に指示される。
	Left-Hand Parallel Waves	0 (Girls on ends , Boys in center)	“follow her” と、手がかりの語句を添えた方が、成功率を増大させるであろう。 (訳者注：Boys Centerからの場合、“follow her” を補語として入れる方が成功率を高める。)

この文書は、コレオグラフィックアプリケーション委員会のために、ビル・ピーターズによって大部分が準備されました。

初版、1991年

第二刷、1994年

第三刷、1996年

第四刷、2001年

第五刷、2004年

第六印刷、2020年

クレジット

数年前、このプロジェクトはCharley Muffの有能なリーダーシップの下、CACによって実施されました。

それ以来、多くのCALLERLABメンバーがこの仕事に多くの時間を貢献してきました。

Bill Petersの素晴らしい仕事に加えて、Jerry Reed, Jack Murtha, そして John Kaltenthaler には特に感謝しなければなりません。

2004年に完了した主な改訂は、歴代委員会委員長Elmer Claycomb, Ron Counts, そして Dottie Welchによってまとめられました。

2020年に完了した主なアップデートとプレゼンテーションの変更は、委員長のDottie Welchによってまとめられました。

CALLERLABオフィスから入手可能